

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成24年8月23日(2012.8.23)

【公表番号】特表2010-521790(P2010-521790A)

【公表日】平成22年6月24日(2010.6.24)

【年通号数】公開・登録公報2010-025

【出願番号】特願2009-553989(P2009-553989)

【国際特許分類】

H 05 B 41/392 (2006.01)

H 05 B 37/02 (2006.01)

【F I】

H 05 B 41/392 Z

H 05 B 37/02 J

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年7月3日(2012.7.3)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項1】

ガス放電ランプ(2)と半導体光源(3)を組み合わせて動作させるための調光可能な作動装置(1)において、

下側の調光範囲においては前記半導体光源(3)のみが作動され、上側の調光範囲においては前記ガス放電ランプ(2)のみが作動され、複数の光源のうちの一方がスイッチオフまたはスイッチオンされる複数の移行時点においては、前記スイッチオフまたはスイッチオンと同時に他方の光源の出力が跳躍的に高められ、人間の目では前記移行時点を認識できない、または認識は困難であることを特徴とする、調光可能な作動装置(1)。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項10

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項10】

半導体光源(3)およびガス放電ランプ(2)を作動および調光する方法において、

下側の調光範囲においては前記半導体光源(3)のみを作動させ、上側の調光範囲においては前記ガス放電ランプ(2)のみを作動させ、

2つの光源を作動させる範囲を設け、一方の光源がスイッチオンされ、他方の光源がスイッチオフされる複数の移行時点では、システムの総輝度を一定に維持することを特徴とする、方法。